

質問3 市町村職員研修全般に対する意見等について

市町村職員研修全般に対するご意見、ご要望、ご提案などをお聞かせください。(質問1～2を除く)

○開催回数、開催時期、受講者数、見送り等に関する意見、要望、提案

専門実務研修は、専門的知識を深めるために活用させていただいています。しかし、応募者多数の場合、参加することができず知識習得ができない場合があります。可能な限り参加希望者を参加させてあげられるよう研修回数を増やす等のご配慮をいただければと思います。

本町では「民法」「地方公務員法」「地方自治法」「行政法」の研修を必須としております。行政法研修が「年1回の9月開催」のため、なかなか受講できないのが現状です。「年2回の開催」及び「9月以外の開催」が可能でしたら、ぜひお願いいたします。

定員を超過する推薦があった場合は、会場の収容人数や講師等と相談され、定員を最大限に引き上げ柔軟に対応いただいていることに感謝いたします。ただ、それでも見送りとなるケースはあり、特に夏から秋にかけて開催される管理能力・指導能力研修に多い印象を受けます。研修へ参加しやすい時期は、どの市町村職員も似たような傾向があると思いますので、見送りが多く出る時期の開催を増やしてはどうでしょうか。また、定員超過の際の受講者決定については、1市町村につき1人や抽選などによる方法で、できるだけ公平となるように決められているのは重々承知しておりますが、より遠方から参加する推薦者に受講の機会を与えていただくような方法は何か無いでしょうか。2日日程の研修に参加する場合、当町からは3泊4日の旅程となり、日帰りや1泊2日で受講が可能な札幌近隣の市町村職員よりもハードルが高く、受講決定見送りとなって別の研修科目へ再推薦し直すにしても、調整が容易ではありません。ご検討くださいますようお願いいたします。

毎年同時期に研修が固定されると業務の繁忙期と重なる職員は、毎年希望した研修の受講を見送ることになるため、可能であれば研修開催時期を年度によって分散させてほしい。例) 毎年11月開催 → 翌年8月開催、翌々年6月開催 等

○研修内容等に関する意見、要望、提案

遠方から職員を派遣するため、1日で総合的なスキルが身につく研修を望みます。人材育成点であれば、人材育成とは何かという考えから「面談スキル」や「若手職員育成」といった実務的スキルを2日間で学べる管理職を対象とした研修。入庁5～6年目の係長候補の職員向けに「ナッジ理論」や「ファシリテーション」を含む円滑な組織づくりを学べる研修などあれば大変活用したい。また民間企業出身の方や現役の方からビジネススキルを学べる機会があれば職員を派遣したいです。

今後の新規の研修テーマとして、年末調整の基本を学べる研修を希望します。(税務署主催の年末調整説明会が開催されなくなったため)

個人のスキルアップはもちろん、DX関連の人材育成が急務であるとともに中途退職者の増加及び採用試験受験者の減少を受け、職員の働き方(ワークライフバランス)への配慮やモチベーション管理、公平・公正な人事評価のあり方など、類似団体等の事例を踏まえた研修があると有益と考えています。

現在、離職者が増えていますので、組織の衰退を防ぐ目的で管理者向けのエンゲージメント(離職防止)研修に追加していただければ幸いです。

新入職員など経験年数の浅い職員を対象に、自治法や地公法など地方公務員の基礎となる部分を教育できるような研修があるとありがたいです。

新人、若手職員の育成に苦慮している事もあり、若手職員を対象とした業務のスキルやノウハウを身につける研修など実施してほしい。

○オンライン等の研修に関する意見、要望、提案

オンライン研修の種類を増やしてほしい。(受講機会の向上に繋がるため・遠隔地では札幌会場まで旅費が高額となり、移動時間も要することから、良いタイトルの研修であってもなかなか参加しにくい・研修会場である札幌市までの距離が遠いため・対面研修では前泊での出張となることも多く、業務の日程調整が困難なケースも多い。等9件)

実務研修系については集合会場とオンラインでのハイブリッド開催も検討いただけると、受講機会の増につながると考えております。

コロナ以降、オンライン研修も取り入れられておりますが、やはり研修会場での受講はオンラインでは得られないコミュニケーションの場があって良いという声があります。一方、移動や家庭都合によりオンラインの受講機会の方が好都合という環境の者もおりますので、引き続き研修会場方式とオンラインのハイブリッドで計画いただけると、推薦側としては広く周知できると考えております。

オンライン研修も有用であります。やはりリアル(対面)の研修の方がモチベーションや横のつながり醸成の面において優位性があると感じます。

○その他の意見、要望、提案

研修の効果という観点から、研修実施による受講者のスキル向上の度合い等について、定量的に測るための効果的な方法を知りたい。

北海道市町村職員研修センターへの研修参加について、本市職員からは「とても役に立った」との復命を多く受けているところです。他自治体職員との交流や意見交換ができる貴重な場と考えております。

毎年10名程度の参加をしています。さまざま研修テーマがあり、横文字でピンとこない研修もあるため、以前の参加者の感想などもあれば少し興味が湧くかもしれないなど感じます。昨年も記入したが、受講推薦書の勤務年数等の記入が面倒です。

1人に対する業務量が多く多岐にわたる現状で、研修に参加することへのモチベーションを上げることに苦慮しております。

一部事務組合の申込み等において、他団体の職員を推薦することに抵抗がありますことから、自治体を介さずとも一部事務組合も独立して申込み等が行える体制のご検討をお願いいたします。

昇格者の研修として、管理能力研修・指導能力研修を受講させていただいています。旅費のみの支給で研修受講できることから大変助かっております。今後ともよろしくお願いいたします。

研修の申込(受講者推薦書)については、エクセルをダウンロードしてメールにて報告する形式となっておりますが、貴センターのサイト内で必要事項を入力して送信することで申し込みが完了する様な、申込フォーム形式にはなりませんでしょうか。

受講料無しで受講できる貴重な存在と認識しております。

職員の意識改革や能力開発に活用させていただいています。